

ろう俳優の寸劇で学ぶ

聴覚障害者のための メンタルヘルス

手話によるオムニバス「青空が見える～闇の向こうを信じて～」

聞こえない人もちょっとしたことからかかる心の病…
闇の中をさすらう二人、男はアルコール依存症、女はパーソナリティ障害。
これは、二人がまわりの助けを借りて自己を回復する物語です。



庄崎 隆志 (しょうぎき・たかし)

1961年生まれ。19歳のとき(1980年)、劇団「デフ・パペット・シアター・ひとみ」に入団。2005年に独立して「office風の器」を主宰。コトバや性別、年齢、国境を越えて楽しめることをモットーにして、無言劇、日本舞踊等、様々な手法を用い、視覚的コミュニケーションを追求した舞台やコンテンポラリーダンスを創り、劇作家、演出、個性派も手掛けます。2009年には全日本ろうあ連盟制作の映画『ゆずり葉』で主役の木村敬一を演じる。現在、コンテンポラリー『波無烈斗～ハムレット～』公演など活動中。平成22年度横浜文化賞・文化芸術奨励賞受賞。



河合 祐三子 (かわい・ゆみこ)

北海道出身。地元の劇団「舞夢(マイム)」での演劇活動を経て上京、シリアスなものからユーモラスな作品まで、個性豊かなキャラクターを活かし、幅広いジャンルの舞台に挑戦し続けている。1995年、演劇の勉強のためアメリカ・デフ・シアター主催のサマースクールに参加。2000年、NHK番組(Eテレ)「手話ニュース」のキャスターに抜擢され、現在「子ども手話ウィークリー」「手話ニュース845」に出演中。

脚本 青木 淑子 (あおき・よしこ)

1970年より福島県内の高校、聾学校に国語教諭として勤務。2004年から2008年まで富岡高校校長職を務め、退職後は震災以後に福島県富岡町の支援活動に取り組んでいる。現在、NPO法人富岡町311を語る会代表。日本演劇教育連盟会員、日本演出者協会会員、「朗読集団10パーセント」主宰

日時：2018(平成30)年2月25日(日) 9:30～11:40(受付9:00～)
会場：世田谷区民会館

東急世田谷線松陰神社前駅徒歩5分
※当日参加も出来ますが、資料準備の都合上、
事前にチケットをお買い求め下さい。

参加チケット：**800円**

主催／特定非営利活動法人世田谷区聴覚障害者協会 後援／世田谷区
協力／一般社団法人日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会

プログラム

9:30~11:40

- 9:00~ 受付
- 9:30~ 開会のあいさつ・企画趣旨説明
- 9:45~ レクチャー(ちょっと学んでみよう)
「きこえない人の精神保健(メンタルヘルス)」
講師:日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会
- 10:00~ オムニバス「青空が見える~闇の向こうを信じて~」
出演者:庄崎隆志・河合祐三子
- 11:30~ まとめ、閉会のあいさつ
- 11:40 終了

※手話通訳・要約筆記が付きます。

※大変申し訳ありませんが趣旨をご理解いただきたく小学生以下のお子さんとはご遠慮ください。

■申し込み

チケットをお買い求めください(下記の連絡先へFAX・メールにてお問合せください。)
当日券もあります。

■連絡先 特定非営利活動法人世田谷区聴覚障害者協会

FAX: 03-3706-4629 / E-mail: setagaya@deaf.to

■世田谷区民会館

所在地:〒154-8504 東京都世田谷区世田谷4-21-27
電話番号:03-5432-2837

●アクセス情報

- 電車 東急世田谷線 松陰神社前駅 下車徒歩5分
- バス 東急バス 世田谷区民会館終点下車
系統 反11(五反田駅-世田谷区民会館)終点
園02(田園調布駅-世田谷区民会館)終点
渋52(渋谷駅(18番のりば)-世田谷区民会館)終点

東急バス/小田急バス 世田谷区役所入口下車
(渋谷駅-上町・祖師ヶ谷大蔵駅・成城学園前駅西口
・調布駅南口)等

※駐車場がありませんので電車・バスをご利用下さい。

